

## 刑事告発された石川区長に余罪

石川雅己千代田区長は、2001（平成13）年初当選から連続5期20年にわたり区長を務めてきた。公私混同した資産購入疑惑を受け、夫人ともども司法判断を仰ぐ身となった。

知られる通り2018年1月、千代田区の石川区長は三井不動産レジデンシャルが建設するマンションの高さ制限を10m緩和、同社は多大な収益増となった。そのマンションの住戸を区長は夫人、子息連名で購入。2020年3月、NHKがマンションは売主からの優遇措置で購入していたと報じ、石川区長の斡旋取崩疑惑が世間の知るところとなった。

千代田区議会は2020年3月11

日、調査権を持つ百条委員会を設置。職権調査を経て同委員会は石川区長や売主の三井不動産レジデンシャル担当役員らを尋問し、11月27日報告書を区議会に提出した。

報告書は①区長が許可したマンションは高さが10m上乘せされ、供給戸数が増えた。②規制緩和率が大きい区の総合設計制度に合わせた延べ床面積を区の担当部署が指導していた。③購入したマンションの資料請求は石川区長が行っていた。④区長一家の購入希望住戸が優先購入枠の事業協力者住戸に変更された。⑤区長夫人と次男は三井不動産レジデンシャルから、購入希望物件は優先取

得権を意味する事業協力者住戸であると知らされて購入行動を行っていた。共同購入者の区長は事業協力者住戸の認識がないとの主張は不自然。また、長男居住用に区長と夫人、

長男共同で購入したマンション・パークコート千代田富士見ザタワー2801号室は飯田橋西口再開発事業用地の一角に建設された。同開発事業は千代田区の提案で駅前広場を計画に算入させることで本来の容積率410%が930%へ緩和され、計画中のパークコート千代田富士見ザタワーは地上40階地下2階、全505戸となった。

区長一家は2014年7月共同購

入した。当初の契約者は別で2013年5月購入契約。2014年3月解除している。キャンセルとなった同物件を区長一家は先着順で購入したと釈明している。しかし、同住戸について問い合わせたり、説明を受けた形跡はない。

同マンションは当時、値上がり確実な有名物件だった。運よくマンションを買った区長らだが、2年半でマンションを売却し7000万円の売却益を得たことを委員会が把握している。

石川区長のマンション購入疑惑を百条委員会が一刀両断できなかった原因は、強制力を伴わない調査権の限界があったと言える。

石川区長は証人喚問を受けたものの、殆どの尋問を「知らない、直接関与していなかった」式の責任回避で対応したため、傍聴人から不誠実ぶりに怒号も飛んだ。

一方で、傲慢さも際立った。令和2（2020）年7月27日、次男の証人喚問を控えて、百条調査で区長の偽証・証言拒否を刑事告発する決議をした。区長は同28日、議会解散を宣した。事前に違法と指摘されながらの攪乱戦法だった。

区議会が処分無効で法的判断を求めると8月12日、区長は解散の不法を謝罪し誠実な対応を誓った。

石川家のマンション売買に権利者としてかわり続けている石川月恵夫人は、百条調査を冒瀆。委員会からの召還命令を拒否。9月4日、百条委員会への出頭要請には、「事実無根な誹謗中傷を記載した書面」を送付して出頭拒否した。委員会は夫人の説得を区長に求めたが、区長は拒否。委員会は「区長夫人を出頭拒否罪・資料不提出罪で刑事告発する」と決定した。

石川区長一家が5件に及ぶマンシ

ョン売買の事実を発掘し追及してきた共産党区議団の木村正明氏は百条委員会の調査報告書がまとまったのを受けて、「便宜供与はなかった」との区長の居直りは決して許されないと断じた。

というのも、石川区政の不誠実な行政ぶりが、マンション問題を機に区民の批判を増しているためだ。

石川区長の二人の息子が千代田区政に関わりが深い企業へ就職や転職している問題や日本テレビ放送網会社の麹町再開発に配慮した四番町公共施設整備事業、職員より高給を取る人材派遣会社パソナに区役所の業務を無競争で外部委託した問題がある。区長案件なのか、担当部署の職員が議会で追及を受けると返答に窮していた。

新春早々改選を迎える石川区長に区民はどんな判定を下すだろうか。

# 月刊日本

GEKKAN  
1  
NIPPON

第25巻第1号 通巻285号  
平成9年4月15日創刊

## 安倍晋三氏に議員辞職を勧告する

郷原信郎・適菜収・平野貞夫・川内博史

**2021年** 安倍政権が懐かしくなる日 白井聡

**日本はどこへ** 女性の居場所がない社会 朴順梨

日米同盟が日本を守ってくれるという幻想 石破茂

「自発的隷従」という亡国に至る病 古川禎久×福島伸享



いつも、いつまでも、  
安心な社会のために。

弊社は、効率化と省力化をコンセプトに、明日の社会に貢献する商品を開発。  
“24時間 365日の安心・安全”を実現する、最新のソリューションを提供しています。

株式会社 **ドッドウェル** ビー・エム・エス

<http://www.dodwellbms.co.jp/>

雑誌 13311-1

PRINTED IN JAPAN



4910133110117